

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
学力検査: 3/8(火) 面接: 3/9(水)	2/1(月) ~2/8(月)	3/18(金)	各学年9教科5段階評価 1年生+2年生+3年生×2 =45+45+45×2=180点満点

教育のプロ
トライさん



傾向

島根県の公立高校入試での大きな特徴は2点あります。

①普通科は地域により受験できる学校が決まっている。地域外受験の合格者は入学定員の10%(出雲高校は5%)以内の制限あり。

②一般選抜試験において、志願者は希望により、第1志望及び第2志望の計2校まで出願することができる。

受験問題に関しては、近年「問題を理解し、自分なりの答えを出す」というアウトプット能力が問われる傾向があります。

インプットだけで定期テストが高得点場合、注意が必要です。

科目別対策

英 語

大問5問構成。リスニング、文法適語選択、長文読解、対話文で構成され、英作文が複数出ます。問題量が多いので、スピーディーに解く必要があります。特に長文読解に関しては、速く読む訓練が必要です。英作文は配点が高いので、基本的な例文を覚えてしまい、一部を書き換えて作文を書く練習をすること。様々な種類の英作文を練習するとよい。

数 学

大問5問構成。図形の証明問題は頻出単元で、配点も高く、関数の問題では難易度が高い問題が頻出し、記述問題が昨年度は増えています。記述問題では正確な知識が必要です。計算問題は得点源になるので、数・式と方程式の分野は教科書問題を繰り返し練習し、正確な計算ができるようにしておくこと。また、証明問題は少し難易度が高いものを繰り返し練習すること。

国 語

大問5問構成。記述問題が多いことが最大の特徴と言える。作文問題では、円グラフの資料をもとにして記述する問題が出題されました。そのため、資料を読み解く力、情報を整理する力が求められます。全体的に基本的なレベルの問題が多く出ます。漢字や慣用句、ことわざ等は教科書レベルを復習すること。また、古文に関しては文章に多くふれておくこと。

理 科

大問5問構成。各分野全ての問題がバランスよく出題されます。実験結果から考察を書く問題やグラフを書く問題が頻出しており、実験や観察が重視されています。用語や結果を覚えているだけでは対応できない問題が多く、実験・観察に関わる単元は特に対策が必要です。結果のみを丸暗記するのではなく、過程や根拠をしっかり理解すること。

社 会

大問5問構成。公民では記述問題が頻出です。資料を読み取った上で、文末語句と文字数の条件に沿って記述すること。そのため、自分の意見を簡潔にまとめる力が求められます。年代や用語の暗記だけでなく、日頃から資料を読み解く練習をしておくことが重要。また、時事問題対策としてニュースや新聞をよく読み、関心を持っておくこと。